

令和元年度 第1回総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年1月22日(水) 午後3時00分
- 2 場 所 役場3階中会議室
- 3 出席者 当別町
宮司町長
当別町教育委員会
本庄教育長、武岡委員、寺田委員、小林委員、佐々木委員
- 4 説明員等 当別町
企画部長 江口 昇
企画課長 長谷川 道廣
総合企画係長 石原 信登志
総合企画係 井田 恵理奈
- 当別町教育委員会
教育部長 山崎 一
学校教育課長 北村 和也
学校教育課参事 山谷 潤
社会教育課長 石川 公隆
子ども未来課長 須藤 政信
学校教育課総務係長 玉木 聡美
- 5 傍聴者 なし

6 議事の要旨

(開会)

企画課長 : 令和元年度第1回当別町総合教育会議を只今から開催いたします。次第に従いまして、次第の2番目、宮司町長よりご挨拶をいただきます。

(町長挨拶)

宮司町長 : 本日道新に義務教育学校の名称募集が載っていました。校章も校歌もこれから出てくるので、教育に携わっている方々、新しい義務教育学校の成功に向けてお願いをしたいと思います。一つお礼を申し上げたいのですが、昨年の子供たちの学力が大幅にアップし、全

町で全国を上回ったという本当に素晴らしい成績に子供たちをしてくれました。教育に関係している皆様のご尽力のたまものと、我々大変誇りに思います。これからもよろしくお願いします。ただ、体力が低いようで、全国平均に中学生はほぼ近くなっていますが、特に小学生の男子が少し低いと聞いているので、これからの一つの課題かと思えます。日体大と町が提携しましたので、有効に使ってもらえればと思います。これがすぐに効果があると思いませんが、アスリートやプロを出すとか、これから何らかの形で進めることができると感じました。今後当別の教育における大きな課題は高校問題があります。小・中は義務教育学校を作り、着々と進めてきましたが、当別高校の問題はいまだにほぼ手がついていません。このままだとひょっとするとなくなってしまうかもしれないと危惧しています。高校の再生は今の上のままではたぶん難しいだろうと思います。高校の特色を今後も残れるような特殊なものに絞って、あるいは選んでやっていくことが必要だとしみじみ感じています。教育長にも令和2年度の大きな課題としてお願いをしているところです。これから皆さんにご議論いただく「当別町教育大綱」については、今まで事務局からの原案をお読みいただきアドバイスをいただいた結果だと思えます。今日は最終的に決定するということですので、気が付いたことがあればお話しさせていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

(教育長あいさつ)

企画課長： それでは次第の3番、教育長よりご挨拶をいただきます。

本庄教育長： 町長にはお忙しい中開催いただきありがとうございます。平成27年に教育大綱の設定が義務付けられました。平成27年に教育大綱を町長に決定していただき、それを最上級の柱として、指針として教育行政を進めてまいりました。2020年度から新たにその流れを大切にしながら次のステップを踏んでいくということで新たな教育大綱を定めていただくことになっていますので、意見交換をさせていただきまして、我々の指針となる大綱を決めていただきたいと思いますので、今日はよろしくお願いします。

企画課長：それではこれより議事に入らせていただきます。協議事項（１）
「当別町教育大綱について」です。
教育委員会事務局から資料に基づき説明をさせていただきます。

学校教育課長：（資料により概要説明）

企画課長：ただ今、「教育大綱について」説明をいたしました。本会議において決定していただきたいと存じます。決定にあたり、教育委員の皆様から意見を頂戴します。はじめに町長から感想をいただきます。

町長：この教育大綱は前から見せていただいているので、これ自体に私から何か足したりというものはありません。基本理念のところ、思考力・判断力を磨きというところ、主体性をもって多様な人々と協働しというのは、まさにこれから人間形成では一番重要なところかと思えます。教育現場は変化がとても激しく、デジタル化の革命もあって、非常に激しい。教育もプログラミングを入れなければいけないなどいろいろ変わってきています。ここが非常に重要なポイントでありますので、今後ぜひ力を入れてやっていただけるように先生方のご指導をいただきたいです。

スポーツに親しむというところですが、ある記事に、部活動の指導者の多くは、教師が兼ねていると。これには無理があり、専門の指導者が必要であると。平成17年に部活動指導員制度ということで、外部人材を入れることが可能になりました。体力にもつながりますが、今後具体的に子供の体力アップ、スポーツに親しむ、アスリートやプロ選手を輩出したりというところにつながるような施策を組み入れてもらえたらと思いました。

世界で活用するためのツールとしての英語力と書いていますが、英語力を高めることが重要であることは間違いないのですが、英語力を高めるには、国語力をアップしないと英語力は高まりません。国語力なかんづく、読解力を高めていかなければならないということだと思います。OECDが発表しているPISA、学習達成度調査

が3分野があり、読解力が日本は15位まで落ちた。国語は文化を伝承していくためには非常に重要な役割を果たしています。今後これを高めなければなりません。そのためには、教材や資料の選定が非常に重要で、可能な限り現場の裁量を認めるべきだと。文部科学省の在り方を考えてほしい。ぜひ現場に任せろと言っていくといいのかと思います。

ICTはまさにこれからの大きなテーマで、もうプログラミングも始まりますし、パソコン・タブレットを授業で使おうとなってきましたが、今、OECD加盟国で子供たちが授業でパソコン・タブレットを使っている割合は、日本が最下位です。世界1位はデンマークであり、子供の8～9割が、授業でパソコンとタブレットを使っていると聞きました。当別町は先進的に進めてもらえたらいいなと思う。

文化、芸術、スポーツと書いてありますが、ノーベル賞を受賞した吉野先生が書いた記事の中に、科学(サイエンス)は芸術なりと書いておりました。サイエンスは芸術を持つ心がないとそのような発見はできないそうです。芸術は非常に重要であると読み取れたのでご紹介します。

企画課長 : 委員の皆様一言ずついただきます。初めに教育長からお願いします。

教育長 : 子供たちのこれから生きていく社会は先の見えない不安定な社会だと思います。子供たちはそういった社会で生きていくので、基礎力が必要であり、基礎力のない子が次のステップに進んでも、ステップの度合いが低かったり幅が狭かったりすると思います。義務教育でつけるべき力を我々はしっかりおさえて基礎をしっかりつけさせて卒業させたいと思います。特に新しい義務教育のシステムである9年通した一貫教育を管内でいち早く取り入れたわが町なので、それをさらに高めてやっていきたいです。学校教育については、義務教育学校も作られるし、北海道の新たな義務教育のモデルとなるような教育をしていきたいと思っています。

ICTの話も出たが、文科省からGIGAスクールという名前で事業が下りてきました。義務教育の子供たち一人一台パソコンを所有させるという事業が降ってわいてきました。積極的に活用しながらICT環境の整備もしたいと思います。国語力についてもそのとおりであり、読解力が大学入試の一つのポイントになっているものであります。その読解力は、一朝一夕でできるものではないので、小学校あるいはその下から基礎を積み上げてしっかりとした読解力をつけていきたいと思います。

この大綱については、平成27年の1回目に作られたときは子ども未来課が入っていませんでした。機構改革により教育委員会の所管となった子ども未来課は、幼児教育に深くかかわっているので、幼児教育と義務教育の橋渡しである接続プログラムを作成し、小学校と認定こども園との調整も盛んに図っているので、学校教育と深くかかわって進めていきたいと思う。

社会教育は守備範囲が一番広く、学校教育とかかわって子供たちの学力とかスポーツ、芸術も含めて、大変幅広く受け持っております。特に芸術とスポーツは本物を体験させるということが重要であるので、財政的な支援もいただきながら子供たちを本物に触れさせることで進めていければと思います。日体大に当別中の剣道部を派遣していただき、大変すばらしい経験をしてきました。社会教育のほうも深く子供たちの成長にかかわっていきたいです。3課、横の連携を取りながら、これからの5年間の教育大綱を最上位の指針としてやっていきたいと考えているので、今日はその方向性を確認させていただきたいと思います。

企画課長 : 武岡委員、お願いします。

武岡委員 : 高校の問題ですが、町としてどのくらいかかわっていけるかはわかりませんが、全道には特色のある課程を設けて頑張っている高校が何校もあります。去年は三笠高校に行ってきましたが、地元の生徒は優秀でないと入れないという問題を抱えているといいます。そのあたりも自分の目で見てきたいと思います。学校の特色の中

で、科目については、全国で出尽くしていると思うので、当別の実態にあった課程を選択していく方法なのかなと思います。

働き方改革の件です。本町に一貫校ができますが、学力向上は第一の命題ですが、学校が楽しいところであることを絶対に忘れてはならないと思います。子供たちが楽しみにしている行事がどんどん削減されているようで、楽しいと思えるような場所でなければならぬが、それが阻害され、中学校の合唱や小学校の運動会も名前を変えて平日開催等の実態が出てくることを危惧しています。楽しみの中の一つとして、本物体験がありますが、土曜教室の中で来年度は現地体験学習を予算要求していただいている。勉強の合間に活動を組み入れると楽しく学校に通える一つになると思う。あわせて、現場の先生たちの協力もあればいいと思っています。

コミスクの件ですが、町内会と連携していただき、一つの町内会で運営していくことが無理であれば、他の町内会と一緒に動く動きを作っていただけないかなと思います。子供たちの楽しみを作っていただきたいです。

礼文町の小学校に行く機会があり、離島で僻地でしたが、全校児童すべてにタブレットがあたっていました。礼文町の方針で教育にお金をかけています。当別町も一貫校ができるころには計画的にそのような動きを作っていけたらと思っています。知識を注入する時代は過ぎ、ICT を使える部分はどんどん使って、子供たちの能力を今以上に高めていく。そんな学校ができてほしいと思います。

企画課長 : 続きます、寺田委員、お願いします。

寺田委員 : 教育現場はこれから劇的に変わっていかざるをえないし、変えていかなければいけないと思っています。先生が一斉授業をして子供たちがそれを黙って聞く時代は終わり、教科書のことは各自勉強してきて、学校はひたすら意見交換や討議や発表をするような場になっていくのではと思います。先生方も勉強していかなければならないし、先生方を励ましていくのが教育委員会の大きな仕

事になるのではと思います。一貫教育が始まり、先生方が小・中で交流をして学び始めたというのが見えてきています。とてもいいことだと思いますし、それが子供たちにいい影響が出るんだろうなどありがたく思っています。先生への励ましをやっていきたいのが一つです。

コミュニティスクールをさらに進めていきたいというところで、取り巻く環境が変わってきて、地域への働きかけが重要になるだろうと思っています。

ICT 関連では、スマホが悪者になっていますが、使い方の問題であり、扱い方について、常に大人も交えて子供たちと考えていければと思います。

企画課長 : 小林委員、お願いします。

小林委員 : 大綱を振り返ると、第1回目の時に町長からご意見をいただいたときのキーワードは学力向上でした。それが全国平均を上回ったということで、この大綱を作って教育長を含め教育委員会で進めてきた結果が少しずつ出てきているのかなと思います。この大綱を作ることで目指す方向性が明確になるので、大事であるとあらためて思っております。教育現場が多様になるのは想像できますが、その中で義務教育学校ができるので、先々を考えながら中身を精査しなければいけないかなと思います。この大綱を含めて、総合教育会議等、ディスカッションの機会があるので、今後もこのような会議が短い時間でもできればと思います。

企画課長 : 佐々木委員お願いします。

佐々木委員 : 小中一貫をはじめまして、9年という切れ目のない教育が実り、学力が向上したと思っています。新しい義務教育学校ができるので、それに向けて維持、それ以上成績を上げるということでこれからさらなる力を入れていかなければいけないとも思います。体力の低下ということで原因はいろいろあるかと思いますが、外部指

導や専門の方の指導の方がよりスポーツを楽しくできるのではないかと思います。成績が上がれば成績の伸びない子が学校に来られなくなるなどの部分も出てくるので、サポートも必要であると思います。ICTのパソコン、タブレットについては新しいICTを利用してそれに向けて知識を持ち、教育環境を整備するようにしたほうが良いと思っています。

企画課長 : 各教育委員の皆様からご意見を頂戴いたしました。最後に町長からご意見をお願いします。

宮司町長 : いろいろな意見をいただきました。学力を上げることがまず第一であるとポイントを置いています。学力が良いということは、子育て世代を呼び込むためのポイントとして一番わかりやすいため言っております。しかし、学力だけが子供の教育ではありません。スポーツ、文化・芸術もやらなければならない、何かに秀でることがとても自信になります。本物に触れることが何よりも大事であると思います。日体大のメダリストを呼んで本物に触れさせると子供たちへの教育に良いと思います。コミスクの問題もでしたが、ぜひ地域で育てなければならないし、ICTに関しては、子供たちが自分で学ぶための知識を自分で持つことが重要なポイントのようであり。それが本当に良いのであれば、お金を使ってでも、将来のために全校に配布することを早く進めないと思います。それには先生の意識改革も必要であり、そこはみんなで盛り上げなければならないと思います。英語力を高めるのが必要なのはもちろんですが、何より国語力や読解力を高めておくことが大事であります。

ぜひ皆様のご意見を取り入れて、メリハリや優先順位をつけていただきたい。

企画課長 : 以上をもって、質疑、意見交換を終えたいと思います。この場におきまして、この教育大綱について決定とさせていただきたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

(全員了承)

企画課長 : それでは教育大綱は決定とさせていただきたいと存じます。以上で本日の案件はすべて終了となります。これをもちまして、令和元年度第1回当別町総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。